

耳鼻咽喉科が扱う病気

2014.5.8（木）

（1）耳に関連した病気

★難聴

難聴とは、「音が聴こえない」「聞こえにくい」という状態をいう。その程度や原因によって、言語発達や対人関係を中心とした社会的発達などに影響を及ぼしますが、気が付きにくいことが現状。

難聴には、伝音声難聴と、感音性難聴、混合性難聴の3つがある。

① 伝音性難聴

外耳や中耳が正常に機能しなくなることで、音が伝わりにくくなる難聴。音を聞く神経に異常はなく、耳垢などの異物によって外耳道が詰まったり、中耳炎などで鼓膜が炎症を起こしたり、耳小骨などの部品に不具合が生じたりすることによって起こる機能的な障害。伝音声難聴は、薬や手術で回復する可能性がある。

② 感音性難聴

内耳や聴覚神経に障害がある難聴で、内耳で音がうまく処理されなかったり、音の電気信号を脳へ伝える聴神経がうまく働かなかったりするため、音の内容がはっきりせず「何を話しているか分からない」「声がひずんで聞こえる」などの症状が生じる。原則として、感音性難聴は手術による治療はできない。

③ 混合性難聴

伝音声難聴と感音性難聴の両方が重なった難聴。老人性難聴の多くが混合性難聴といわれていますが、個人によって伝音声難聴と感音性難聴の度合いが強いかが異なる。

★めまい

めまいは脳から生じるめまいや、耳が原因となって生じるめまいがある。



メニエール病

めまいの原因として最も注目されている耳の病気で、30～40代の女性に多く、急に目の前の風景がぐるぐると回り出す。めまいが起こる少し前から、耳鳴りや耳閉感、難聴が起こることもある。これは蝸牛内のリンパ液がたまりすぎて、内耳がむくんだようになる内リンパ水腫が原因。最近の研究では、ストレスや睡眠不足、疲労が影響しているという報告もされている。

治療方法としては、めまいを軽減させる抗めまい薬や、内耳のむくみを軽減するための利尿剤などによる薬物治療が主だ。

また、日常生活でストレスを避けることも大切。起床、就寝、食事の時間を決めて、規則正しい生活を心がけ、音楽やスポーツなどでリフレッシュするとよい。



良性発作性頭位めまい症

内耳の前庭にある耳石がはがれ、三半規管に入り込んでしまうことが原因で起こるめまい。耳石が転がり込むと三半規管のリンパ液が揺れ、それと同時にクプラも揺れ動き、めまいが起こる。

良性発作頭位めまい症には次のような特徴がある。

- ・頭の向きを変えた時に起きる回転性のめまいである
- ・めまいの持続時間は短く、30秒～1分以内で治まる
- ・頭の向きを変えてからめまいの出現まで数秒程度のずれ
- ・耳鳴りや難聴は見られない